

NO. 1956

2025年
10月13日
月曜日発行ひろしま北
民商ニュース[発行所] 広島北民主商工会
広島市安佐南区緑井
6丁目12番10号
TEL 879-4060
FAX 879-4064
メール: kitaminsyou@yahoo.co.jp自主記帳・自主計算
自主申告を貫こう！広島県と振興条例に
基づく個別会議

直接支援や制度拡充を求める

（裏面で紹介します）



要請書を渡す坂井県連会長（左）



美味しさのあまり「食べ過ぎた」の声も出る楽しい昼食・交流でした。

民商・全商連の『秋の運動』（9～11月）が始まり、広島北民商でも10月5日（日）に、会員訪問を中心とした行動をおこないました。この日は婦人部さんにお昼ご飯の炊き出し

「会員の減少を食い止めるため、紹介や署名も訴えていきましよう」とあいさつしていただきました。6つのグループに分かれ、高竹会長のグループには全商連の取材も同行して、それぞれ



訪問先で紹介や署名を訴える相田・西支部長の日野原さん（上）、可部亀山支部長の久保さん（下）

をしていただき、23名と多くの参加がありました。初めに高竹会長から「会員の減少を食い止めるため、紹介や署名も訴えていきましよう」とあいさつしていただきました。6つのグループに分かれ、高竹会長のグループには全商連の取材も同行して、それぞれ



「拡大・署名の訴え」40周年祝賀会のお誘い「会費の未収者の様子うかがい」などをしながら、会員宅を訪問しました。お昼は婦人部さんの用意した美味しい炊き出しをいただきながら英気を養い、午後3時まで精力的に訪問し対話を広げました。また、この日は参加できなかった拡大推進委員長の栗原さんは、みなさんの様子も気になりながら、新たに2名の商工新聞読者をふやした連絡が入りました。この日一日で10名の読者がふえました。1ヶ月後に近づいた40周年祝賀会を盛り上げるため、引き続き会員・読者の紹介を広げてください。

【陶山記】

9月29日（月）の「日本母親大会」には、全国から1万3千人が参加。北民商婦人部は事務所から12名がオンライン参加しました。主催者あいさつでは米山淳子代表委員が、戦後80年・女性差別撤廃条約批准40年という節目に70回目の大会を迎える意義を強調。木原秀子現地実行委員長は「命の砦は渡さない」と平和を次世代に引き継ぐ決意を語りました。来賓の矢吹義則氏（東京地方労組評議会議長）は物価高騰や最



全婦協（婦人部）の活動報告で、元気をもらいました

先週お知らせのとおり、10月分の領収書を今週号と一緒に当番さんにお届けします。22日までに事務所に届いたものが支部の集金援助金の対象となります。お忙しい時期と思いますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

10月の班集金について

『江戸九月母親賑』（えどのながつきおなごのにぎわい）が披露され、会場を沸かせました。全国のたたかひのアピールでは、全婦協が消費税減税とインボイス廃止署名の継続を呼びかけがあり、事務所参加者からは「民商が出たよ、頑張らなきゃ」と声が上が

婦人部主催
きたみんカフェ & 領収書整理会
10月21日（火）13時30分～
会場：北民商事務所3階
楽しくお茶をしながら交流しましょう！
みなさん、気軽に参加して下さい♪

文化行事では劇団「前進座」による歌舞伎。低賃金引き上げの必要性に触れ、母親大会と共にたたかうと表明。記念講演ではフリージャーナリストの布施祐仁氏が、日米軍事一体化や台湾有事訓練の危険性を指摘し、軍事対抗ではなく対話による平和外交を訴えました。

文化行事では劇団「前進座」による歌舞伎。低賃金引き上げの必要性に触れ、母親大会と共にたたかうと表明。記念講演ではフリージャーナリストの布施祐仁氏が、日米軍事一体化や台湾有事訓練の危険性を指摘し、軍事対抗ではなく対話による平和外交を訴えました。153項目に及ぶ大会決議と共に、核兵器廃絶・ジェンダー平等・平和な未来を子どもたちへつなぐ決意が確認されました。遠方での開催時はなかなか現地参加できませんが、オンラインを使うなど、これからも大会参加を婦人部では続けていきます。参加されたことのない方も、次回は是非とも参加してみてください。

【牛田記】

日本母親大会（先週の続き）
全国の活動に学びと勇気もらい

りました。